

ネイティブ大腸菌 L-グルタミン合成酵素

Cat. No. NATE-0321

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 グルタミン合成酵素 (GS) (EC 6.3.1.2) は、グルタミンを形成するためにグルタミン酸とアン

モニアの縮合を触媒することによって、窒素の代謝において重要な役割を果たす酵素です: グルタミン酸 + ATP + NH3 \rightarrow グルタミン + ADP + リン酸。グルタミン合成酵素は、硝酸塩還元、アミノ酸分解、光呼吸によって生成されるアンモニアを利用します。グルタミン酸のア

ミド基は、グルタミン□路の代謝物の合成における窒素源です。

す。

別名 グルタミン合成酵素; グルタミルヒドロキサミン合成酵素; L-グルタミン合成酵素; グルタミン

酸-アンモニウムリガーゼ; L-グルタミン酸:アンモニウムリガーゼ (ADP形成); EC 6.3.1.2;

GS; 9023-70-5

製品情報

由来 大腸菌

形態 凍結乾燥粉末; リン酸カリウム、クエン酸ナトリウムおよび酢酸マグネシウムバッファー塩を

含む

EC番号 EC 6.3.1.2

CAS登□番号 9023-70-5

純度 アフィニティクロマトグラフィー

活性 400-2,000 ユニット/mg タンパク質

緩衝液 H2O: 溶解性 0.95-1.05 mg/mL、透明から不透明

代謝□路 アラニン、アスパラギン酸およびグルタミン酸の代謝、特定の生物系; アルギニンおよびプロ

リンの代謝、特定の生物系; 代謝□路、特定の生物系

単位定義 1ユニットは、pH 7.1、37°Cで15分間に1.0 μmoleのL-グルタミン酸をL-グルタミンに□換し

ます。

保管・発送情報

保存方法 -20℃